

512引火性の物を起因物とする死傷災害100事例まで（2018年）

No	年	月	発生時	死傷災害事例	年齢	事故の型	小業種	労働者規模
1	2018	1	12 ～ 13	装置洗浄のため、処理槽にトルエンを張り込み、加熱して洗浄を実施した。洗浄終了後にトルエンを貯槽に移送し、処理槽が空であることを確認しようとマンホールを開放したところ着火炎上し、顔面、頸部、右腋窩、両上肢に熱傷を負った。	26	14	10801	50 ～ 99 人
2	2018	1	10 ～ 11	荷を運んで走行中に、休憩のため、路片の広い場所に停車し、運転席から降りる際に、足を滑らせ落下した。そのとき、右手を下に落ちたので、右腕を強打した。その後、痛み腫れが酷くなった。	33	16	11301	1～ 9人
3	2018	2	15 ～ 16	トラックのクラッチを修理中、車両に付いている部品を洗浄するため、缶に入った灯油を使用し灯油の缶をその場に置いたままで、車両左脇にて取り外した部品の不良箇所を交換するため、電気式カッターにて切断、その際発生した火花が灯油に引火した。車両への延焼を避けるため、灯油の入った缶を移動したが、作業員及び床に油が飛び火傷した。	52	11	11701	10 ～ 29 人
4	2018	2	16 ～ 17	当社工場内にて、4人がかりで燃料給油車について吐出検査の最中、燃料受け入れ側で燃料が急激に燃焼し始め引火、火だるまとなり全身やけどの状態となった。	27	16	11701	30 ～ 49 人
5	2018	2	16 ～ 17	当社工場内にて、4人がかりで燃料給油車について吐出検査の最中、前方燃料受け入れ側で燃料が急激に燃焼し始め給油車後方で作業していた被災者に引火、下半身やけどの状態となった。	53	16	11701	30 ～ 49 人

									人
6	2018	2	16 ～ 17	当社工場内にて、4人がかりで燃料給油車について吐出検査の最中、前方燃料受け入れ側で燃料が急激に燃焼し始め引火、火だるまとなり全身やけどの状態となり死亡した。	42	16	11701		30 ～ 49 人
7	2018	2	14 ～ 15	コーキング処理をするため、ホワイトガソリンを使いウエスで拭き取り、水分除去にヘアドライヤーを使用したため、気化したガソリンに引火したと思われる。	44	11	30302		30 ～ 49 人
8	2018	3	19 ～ 20	店舗キッチン内のコンロ場で調理中、中華鍋を火にかけ、油を入れた状態で他の人に呼ばれ、振り向いた際に左手に中華鍋を持ったままだったので、中華鍋に入れた高温の油が、左前腕～手背部にかかり同部に二度の熱傷を負った。	31	8	140201		10 ～ 29 人
9	2018	4	10 ～ 11	開発設備の電気炉にてポンプ内に異物（布きれ）が入り込んだため、異物を取り除く非定常作業が発生し、対応中にポンプバルブ内に残存していた副生成物に洗浄用の金属ノズルが接触し発火した。発火した炎により顔面下半分と左手の平、右手指先にⅡ度の火傷を負った。	29	11	170101		300 ～ 499 人
10	2018	4	15 ～ 16	ドラム缶のふたを溶接機の溶接棒で切っていたら、ドラム缶が爆発した。	63	14	30199		1～ 9人
11	2018	5	11 ～ 12	牧場の避難舎付近にて被災者が清掃を行っていた際、避難舎前の広場で駆虫剤の入っていた空のポリ容器を段ボールとともに焼却処分しようとし段ボールに着火したとき、ポリ容器が破裂し引火した容器の一部が本人にぶつかり、顔面と両腕に熱傷を負った。	25	11	70101		100 ～ 299 人
12	2018	5	18 ～	博物館内の非常階段で上り、降り口に敷いていた足拭きタオルを交換しようとした際、階段の存在に気付かず転落した。	32	14	140101		100 ～ 299 人

			19						人
13	2018	5	14 ～ 15	工場で、釜内にトルエン及びポリエチレンを仕込み、混合物を液体状態のまま粉碎装置で処理していたところ、製品の物性確認のため、開放状態で3～5kg程度を20?ペール缶に抜き取りを行った際、製品が静電気により着火、火災が発生した。	40	16	10899	100 ～ 299	人
14	2018	6	19 ～ 20	工場清掃作業中に揮発性の高いパーツクリーナーを散布し、床清掃機で清掃を始めたところ、床清掃機のモーター部の火花で引火してストールリフトの排水部が爆発し、火傷を負った。	26	16	80202	10 ～ 29	人
15	2018	7	14 ～ 15	グリドル作業中の他スタッフが熱した鉄板上に誤って多量の油を出し過ぎ、スクレーパーで勢いよく手前側へ油を除去させたことで、カス受けを飛び越え油が跳ねたため、しゃがんでいた本人の右腕に油が掛かり火傷を負った。	44	11	170209	1～ 9人	
16	2018	7	18 ～ 19	給油所で石油製品を荷卸中、可燃性ガスが荷卸場所付近に滞留し、何らかの原因によりガスが引火し火災が発生した際、熱傷を負った。	37	16	40302	30 ～ 49	人
17	2018	8	15 ～ 16	工場でアセチレンガスバーナーで鋼材に切り込みを入れる作業をしていたとき、スプレー缶が熱せられ破裂し、出た炎で顔と左手に熱傷を負った。	61	15	30309	30 ～ 49	人
18	2018	9	15 ～ 16	お客様宅にて暖房ボイラー設置作業中、銅管をはんだでろう付けする作業の際に、近くにあった灯油を含んだウエスに引火して、床・壁への延焼を心配し、ウエスを手に持って煽って消火を試みたが消えず、顔面及び上肢両手に火傷を負った。	71	16	80204	10 ～ 29	人
19	2018	9	15	社内塗型場にて砂型に薬剤を塗付し火をつけて硬化させる作業中、手袋にアルコールがしみ込んでいるのに気付かず火をつけてしま	47	11	11102	50 ～	

			16	い、左手首より下に火傷を負った。					99 人
20	2018	9	9 ～ 10	店で雨漏り修繕工事中、接着剤を使用しているとき、不注意にて火 気を使用し、引火して火傷を負った。	37	11	30209		1～ 9人
21	2018	9	9 ～ 10	店で雨漏り修繕工事中、接着剤を使用しているとき、不注意にて火 気を使用し、引火して火傷を負った。	23	11	30209		1～ 9人
22	2018	9	15 ～ 16	お客様宅にて暖房ボイラー設置作業中、銅管をはんだでろう付けす る作業の際に、近くにあった灯油を含んだウエスに引火して、床・ 壁への延焼を心配し、ウエスを手に持って煽って消火を試みたが消 えず、顔面及び上肢両手に火傷を負った。	71	16	80204		10 ～ 29 人
23	2018	9	15 ～ 16	社内塗型場にて砂型に薬剤を塗付し火をつけて硬化させる作業中、 手袋にアルコールがしみ込んでいるのに気付かず火をつけてしま い、左手首より下に火傷を負った。	47	11	11102		50 ～ 99 人
24	2018	9	9 ～ 10	店で雨漏り修繕工事中、接着剤を使用しているとき、不注意にて火 気を使用し、引火して火傷を負った。	37	11	30209		1～ 9人
25	2018	9	9 ～ 10	店で雨漏り修繕工事中、接着剤を使用しているとき、不注意にて火 気を使用し、引火して火傷を負った。	23	11	30209		1～ 9人
26	2018	9	15 ～ 16	お客様宅にて暖房ボイラー設置作業中、銅管をはんだでろう付けす る作業の際に、近くにあった灯油を含んだウエスに引火して、床・ 壁への延焼を心配し、ウエスを手に持って煽って消火を試みたが消 えず、顔面及び上肢両手に火傷を負った。	71	16	80204		10 ～ 29 人
			15	社内塗型場にて砂型に薬剤を塗付し火をつけて硬化させる作業中、					50

27	2018	9	～	手袋にアルコールがしみ込んでいるのに気付かず火をつけてしま	47	11	11102	～
			16	い、左手首より下に火傷を負った。				99 人
28	2018	9	9	店で雨漏り修繕工事中、接着剤を使用しているとき、不注意にて火	37	11	30209	1～
			～	気を使用し、引火して火傷を負った。				9人
			10					
29	2018	9	9	店で雨漏り修繕工事中、接着剤を使用しているとき、不注意にて火	23	11	30209	1～
			～	気を使用し、引火して火傷を負った。				9人
			10					
30	2018	9	15	お客様宅にて暖房ボイラー設置作業中、銅管をはんだでろう付けす	71	16	80204	10
			～	る作業の際に、近くにあった灯油を含んだウエスに引火して、床・				～
			16	壁への延焼を心配し、ウエスを手に持って煽って消火を試みたが消				29
				えず、顔面及び上肢両手に火傷を負った。				人
31	2018	9	15	社内塗型場にて砂型に薬剤を塗付し火をつけて硬化させる作業中、	47	11	11102	50
			～	手袋にアルコールがしみ込んでいるのに気付かず火をつけてしま				～
			16	い、左手首より下に火傷を負った。				99 人
32	2018	9	9	店で雨漏り修繕工事中、接着剤を使用しているとき、不注意にて火	37	11	30209	1～
			～	気を使用し、引火して火傷を負った。				9人
			10					
33	2018	9	9	店で雨漏り修繕工事中、接着剤を使用しているとき、不注意にて火	23	11	30209	1～
			～	気を使用し、引火して火傷を負った。				9人
			10					
34	2018	10	18	工場でゾルピデム酒石酸塩の製造中、アセトニトリル再結晶工程後	51	12	10803	30
			～	の反応釜から、エアードンプを用いて遠心分離機に移送する際、				～
			19	体調不良となった。作業時は防毒マスクを着用しており、アセト				49
				ニトリルの体内吸収が原因と考えられる。				人

35	2018	10	9 ～ 10	工場内で作業中、作業服にオイルが付着したため、オイルクリーナーで除去していた。その際、ストーブの近くにいた同僚に声を掛けられたため近付いたところ、ストーブの熱で気化したクリーナーに引火し、右足に火傷を負った。	64	11	10901	10 ～ 29 人
36	2018	11	12 ～ 13	店舗厨房で、グリルで肉を焼いていたとき、グリルの鉄板から油が落ちて右手に掛かり、火傷を負った。	16	11	140201	30 ～ 49 人
37	2018	12	14 ～ 15	路上で車両をレッカーする際、レッキング作業及び下回り点検終了後、つなぎの袖が油で汚れていたことに気付いた。パーツ&ブレーキクリーナーのスプレー（揮発性あり）を両袖に吹きかけた後でタバコを吸うためライターでタバコに火をつけたところ、左袖に引火した。左袖が焼け、左腕に火傷を負った。	64	16	11701	50 ～ 99 人
38	2018	12	14 ～ 15	ピット内をウェスと速乾性洗浄スプレーにて清掃後、グラインダーで不用物（残骸）除去を開始した。その直後、ピット内に残留していた洗浄スプレーのガスにグラインダーの火花が引火して火災が発生し、両手と顔面に熱傷を負った。	64	16	30203	1～ 9人
39	2018	12	10 ～ 11	当社1Fショールーム（厨房）にて廃油を処分するため、固形化する材料を混ぜて加熱している際、ボウルに入れていた廃油に引火し炎が上がり、壁に燃え移るのを防ぐため、ボウルを動かそうとしたが熱く、誤って倒してしまい両腕と顔に火傷を負った。	64	16	80209	10 ～ 29 人

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.html(職場のあんぜんサイト)

参考：[労働災害の分類の概要](#)

[各起因物における死傷災害100事例まで（2018年）](#)に戻る。